

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
音楽基礎B4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	早川治			実務経験	有	職種	ミュージシャン、作曲家、プロデューサー、レコーディングエンジニア				
授業概要											
この授業では、譜面が読めて普通にプレイ出来る…に留まらず、昨今のライブ、コンサート等で不可欠な「電気」についての基礎知識…家庭用コンセント1口には約100V/15Aという電気が来ていて…という初歩的な事を習得する…等、お客さんが聴くに耐える「良い音」について触れる。											
到達目標											
本科目前期は、個人的にいくら練習を積んで各パートのプレイテクニックが高くなろうとも、「プロ」の現場ではそれ以外に知っていなければならないこと、出来ていなければならないことが山ほどある。ただ弾けるだけでは不十分なので、レコーディング、ライブステージにおいて必要なプロレベルの良い音を習得する事ができる。											
授業方法											
プロの現場では読譜が出来るだけでは仕事の半分も適わず、その他たくさんの「現場必須項目」がある事を理解する。この授業では、現場では当たり前前の壁コンセントの極性といった簡単なことから、アース（グラウンド）、ヘルツ、位相、信号の波形とノイズの関係（バランス、アンバランス）、各楽器の特徴及び簡単な扱い方、アマチュアの方が「やっぱりプロはすごい！」と憧れるような良い音の作り方までの習得を目的とする。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	前期の復習										
第2回	ベースアンプの録音の仕方を理解する。										
第3回	ボーカルに合ったEQ、コンプの掛け方を理解する。										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科	
音楽基礎B4	
第4回	ドラムに合ったEQ、コンプの掛け方を理解する。
第5回	ギターアンプに合ったEQ、コンプの掛け方を理解する。
第6回	ベースアンプに合ったEQ、コンプの掛け方を理解する。
第7回	ギターアンプのアンサンブル内での音の作り方を理解する。
第8回	ベースアンプのアンサンブル内での音の作り方を理解する。
第9回	各パートが混ざり合った際に邪魔し合う周波数帯域を理解する。
第10回	最初からエフェクターが掛かったキーボードの音色とギター、ベースの前後感を理解する。
第11回	空間系の上手な掛け方を理解する。(1)
第12回	空間系の上手な掛け方を理解する。(2)
第13回	録音素材を使ってこれまでの全内容を体験、理解する。(1)
第14回	録音素材を使ってこれまでの全内容を体験、理解する。(2)
第15回	まとめ